



予防について

☆予防接種

◎犬の予防接種

大きく分けて 2 つあります。接種が義務づけられている“狂犬病予防接種”と飼い主様が任意で行うその他の感染症予防接種です。

👉 狂犬病ワクチン 👈

生後 3 ヶ月以上のワンちゃんから接種可能です。毎年 1 回の接種が義務づけられています。

“以下、厚生労働省のホームページより抜粋”

—狂犬病予防法が制定される 1950 年以前、日本国内では多くの犬が狂犬病と診断され、ヒトも狂犬病に感染し死亡していました。このような状況のなか狂犬病予防法が施行され、犬の登録、予防注射、野犬等の抑留が徹底されるようになり、わずか 7 年という短期間のうちに狂犬病を撲滅するに至りました。この事例を見ても、犬の登録や予防注射が狂犬病予防にいかに重要な役割を果たすかが理解できます。

現在、日本では、犬などを含めて狂犬病の発生はありません。しかし狂犬病は、日本の周辺国を含む世界のほとんどの地域で依然として発生しており、日本は常に侵入の脅威に晒されていることから、万一の侵入に備えた対策が重要となっています。

万一狂犬病が国内で発生した場合には、素早くしっかりと発生の拡大とまん延の防止を図ることが非常に重要となります。そのためには、犬の飼い主一人一人が狂犬病に関して正しい知識を持ち、飼い犬の登録と予防注射を確実に行うことが必要であり、そうすることによって公衆衛生の向上と公共の福祉の増進に寄与しているということを飼い主の方にはしっかりと自覚していただくことが望まれます—


👉 混合ワクチン 👈

コアワクチンとノンコアワクチンに分かれます。

・コアワクチンとは：すべての犬や猫に接種するように勧告されているワクチン。

◎コアワクチンの種類

1. 犬ジステンパー感染症 (CDV)
2. 犬アデノウイルス 2 型
3. 犬パルボウイルス感染症 (CPV)



・ノンコアワクチンとは：個々の動物の危険度に基づき、飼い主様の住環境や病原体に対する情報などを考慮して接種するワクチン。

◎ノンコアワクチンの種類

1. 犬パラインフルエンザウイルス感染症
2. 犬コロナウイルス感染症
3. レプトスピラ感染症（人獣共通感染症）

当院では、WASAVA(World Small Animal Veterinary Association)のガイドラインに沿って推奨されるワクチンプロトコールを元に接種しています。接種の仕方については獣医師と相談ください。

また、ワクチンの副反応の問題や高齢犬の接種に際して、抗体価検査を実施して接種の是非を相談させていただく事も可能です。ご相談ください。

◎猫の予防接種

3種混合ワクチンが基本です。コアワクチンに分類される3種の感染症の予防注射です。

1. 猫パルボウイルス感染症
2. 猫ヘルペスウイルス感染症
3. 猫カリシウイルス感染症

ワンちゃん同様、WASAVA(World Small Animal Veterinary Association)のガイドラインに沿って推奨されるワクチンプロトコールを元に接種しています。接種の仕方については獣医師と相談ください。

☆フィラリア予防

フィラリア（犬糸状虫）は蚊が媒介する寄生虫感染症です。最近では予防意識が高くなり、遭遇することが少なくなった病気ですが、最終的には心臓に寄生しますので一度感染すると駆虫がたいへんな病気です。毎年予防薬で予防して、わんちゃん、ねこちゃんが感染しないようにしっかり守ってあげることが大切です。

ワンちゃんでは、おやつタイプ、チュアブル錠タイプ、錠剤タイプ、スポットオンタイプ、1年効果のある注射薬など様々な種類の予防薬、ねこちゃんではスポットオンタイプが主になります。詳しくは獣医師や看護師にお尋ねください。

☆ノミダニ予防

ノミ、マダニ寄生によって直接症状を受けるものと、ノミやマダニが媒介する病気の2点の観点からの予防が重要です。

ノミの寄生によって起こる症状としては、吸血による貧血、寄生による痒みや皮膚炎、寄生がなくてもその糞や死骸に対するアレルギー性皮膚炎を起こすこともあります。ノミが媒介する病気としては、犬や猫に瓜実条虫という消化管寄生虫を媒介し、人にもQ熱やツツガムシ症、発疹チフスなどの病気を媒介します。

マダニの寄生によって起こる症状としては、ノミ同様吸血による貧血症状、刺し傷からの皮膚細菌感染症、皮膚炎。マダニが媒介する病気としては、犬バベシア症、猫ヘモプラズマ感染症、ライム病、Q熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、エールリヒア症、犬ヘパトゾーン症、野兎病、日本紅斑熱、ダニ媒介性脳炎などがあります。

ノミダニ予防薬には、最近ではフィラリア予防薬とオールインワンタイプのもの、スポットタイプ、チュアブル錠タイプのものなどがあります。

当院の犬予防プログラム

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
狂犬病ワクチン	← 推奨期間 →		狂犬病予防接種は法律で接種することが定められています。 年に1回必ず接種しましょう。									
混合ワクチン	年に1回の接種、もしくは抗体価検査を受けましょう。											
フィラリア予防												最後の1回が いちばん大事！
ノミ・マダニ予防												
健康診断 わんにゃん ドッグ	← 推奨期間 →										← 推奨期間 →	
	※血液検査で調べられる健康診断や、 半日お預かりしてより詳しく調べる画像検査も含んだ わんにゃんドッグもございます。獣医師にご相談ください。 検査結果については後日の説明になりますので、ご予約の上、ご来院ください。											

重要! 犬は人よりも早く年を取ります。年間の寄生虫対策に加えて、
年に2回の健康診断も受診しましょう。 吉田動物病院

当院の猫予防プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
混合ワクチン	年に1回の接種、もしくは抗体価検査を受けましょう。											
フィラリア予防												最後の1回が いちばん大事！
ノミ・マダニ予防												
健康診断 わんにゃん ドッグ	← 推奨期間 →										← 推奨期間 →	
	※血液検査で調べられる健康診断や、 半日お預かりしてより詳しく調べる画像検査も含んだ わんにゃんドッグもございます。獣医師にご相談ください。 検査結果については後日の説明になりますので、ご予約の上、ご来院ください。											

重要! 猫は人よりも早く年を取ります。年間の寄生虫対策に加えて、
年に2回の健康診断も受診しましょう。 吉田動物病院